

# 憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp  
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp

TEL03-3261-9007  
FAX03-3261-5453

2026年10月8日(木)

NO. 1719号

本号3頁

## 「高市暴走政治を止めよう！10・5 臨時国会開会日行動」

臨時国会が開会した10月5日12時から、総がかり行動実行委員会らの呼びかけで「高市暴走政治を止めよう！10・5 臨時国会開会日行動」が衆議院第2議員会館前で行われました。沖縄県の米兵逮捕や、築和生農相が自身の選挙を巡り自治体の道路予算を削ったとされる疑惑など、さまざまな問題に抗議の意思表示をしました。

### ◆「変えるなら憲法より日米地位協定だ」

250人（主催者発表）が参加。小田川義和・憲法共同センター共同代表は「（臨時国会で）物価高に苦しむ人たちに寄り添う法案はほとんど見当たらない」と指摘。築農相の発言に触れ「この内閣はだれのための政治をやろうとしているのか」と苦言を述べました。参院会派「沖縄の風」の伊波洋一参院議員は、米兵の強盗殺人事件について「沖縄ではそういうことが当たり前に起こることを象徴している」と強調。飯島滋明・名古屋学院大教授は、改憲に強い意欲を見せる高市早苗首相の姿勢を「憲法尊重擁護義務に違反している。変えるなら日米地位協定だ」と訴えました。

「議員定数削減反対！緊急アクション」呼びかけ人の浅倉むつ子・早稲田大名誉教授は、衆院比例代表の定数を自動的に1割削減する与党法案について「女性、若者、障害がある人々など、少数者の声が減る。多様性を切り捨てる法案だ」と批判し、廃案を求めました。

## この内閣は誰のための政治か？ 沖縄の米兵逮捕…抗議の声上げる

時あたかも米兵（普天間基地所属海兵隊員）による残虐非道な女性への強盗殺人事件の直後であり、参加者の怒りの声が響きました。日本政府・高市首相の及び腰の「抗議」、古謝沖縄県知事の笑いを浮かべた記者会見を見よ。そこに人間としての心からの怒りを読み取ることはできないではないか。相次ぐ米兵による「事件」は、「基地の中」にある沖縄の現実が生み出したものであり、日米地位協定の抜本的見直し、米軍基地撤去を要求することなしに問題解決にならないことを如実に示しています。



沖縄の風・伊波洋一参議院議員（高良さちか参議院議員）、社民党・福島瑞穂参議院議員・党首（ラサール石井参議院議員）、日本共産党・仁比聡平参議院議員が連帯のアピールをしました。日本共産党・参議院議員団全員が参加しているのが目をひきました

## 陸自の個人情報収集 “酒の好みまで把握”「熊日」記者が語る

「陸上自衛隊『現地情報隊』の陰湿な個人情報収集活動の実態と問題点を考える」と題した集会が2日、国会内で開かれました。日本平和委員会が主催し、会場とオンラインで約200人が参加しました。

◇現地情報隊 陸上自衛隊朝霞駐屯地（東京都、埼玉県）に拠点を置く中央情報隊の「対外情報部門」として、2007年に新設されました。自衛隊の海外活動で、現地の住民や協力者などから人的情報を集め、部隊に脅威を知らせることが本来の目的で、約50人の隊員で構成されています。熊本日日新聞が元隊員らの証言を報じ、日本国内での組織的な情報収集の実態が明らかになりました。

対象者のプライバシーにも関わる 41 項目の情報を報告書に記載し、活動内容の違法性が問われています。

約 1 年をかけて、この現地情報隊の元隊員らに取材し、民間人を対象とする個人情報収集の実態を報じた熊本日日新聞の植木泰士記者が経過と真相を報告しました。

植木記者の取材によると、現地情報隊は大学教授などの「個人 B S D（ベーシック・ソース・データ）報告書」を作成。調査対象者の連絡先や学歴、職歴などの基本情報に加え、体形、資産や負債、趣味、思想傾向、愛国心、性的嗜好などの項目がありました。

植木記者は「飲酒」の項目に「どんなウイスキーが好きかも書いてあった」とし、隊員が身分を隠して民間人のプライバシー情報を集める中で「まさか自分の情報が抜き取られていたとは思わなかった」との声を聞いたと明かしました。

また、個人 B S D 報告書の内容が国家情報局に集まる懸念があるとして「巨大な権力の下支えになるのではないか」と警鐘を鳴らしました。

元東海大学教授の永山茂樹さんは、自衛隊が民間人のプライバシー情報を集める活動は「憲法違反だ」と指摘。高市早苗政権が「スパイ防止法」の制定を推進するなど「違法性を根底から覆してしまう政治状況がある」と述べ、自衛隊や公安警察が堂々と国民を監視する国になる危険性を示しました。

日本平和委員会の千坂純事務局長は「自衛隊が市民のプライバシーや思想を詳細に調査し、そのデータを積み重ねることは、国家権力による重大な犯罪行為だ」と強調しました。

日本共産党の山添拓政策委員長・参院議員と畑野君枝衆院議員が参加し、現地情報隊の問題を追及する決意を述べました。

## **自民党を支持しない市町の道路予算 「私がカットした」**

▼司会 「大変長らく、お待たせいたしました。築代議員がお見えになりましたので、ご挨拶もしたいと思います」

◇築氏 「みなさん、こんばんは。きょうは総会で、ここに残っているみなさまは、良識のあるみなさまということで…。大変ご尽力を心から感謝申し上げます。本当にありがとうございます」

発言の主とみられているのが先月（9 月）、内閣改造で農林水産大臣に起用されたばかりの築和生氏です。

この日、行われていたのは栃木県の自民党支部の会合。“問題の発言”はその冒頭に飛び出しました。

◇築氏 「まずですね、那須烏山市と那珂川町の令和 8 年度の道路予算については、大幅にカットしました。これは当たり前なんです、2 つの要件だと私はみています。1 つは首長が『自民党の国会議員はいらない』という行動。2 つ目の要件は票数。多くの市民・町民がそういう判断をしたと。そうであれば自民党が必要だと、自民党の議員に頼ってインフラの予算が必要だというところに多く回すのが当たり前の話ですから、それをやりました。このお話は一般の方の前ではやりません、いろんな見方をされるので。役員レベルのみなさん、自民党支部のみなさんの前ではお話をしています。那須烏山市については前年比の 64% 減、3 分の 1 にしました。那珂川町は 54% 減にしています」

### **高市首相「経世済民」掲げ臨時国会開幕も初日から波乱 築農水相音声認め発言撤回陳謝**

高市首相（2026 年 2 月）は「築ちゃんにはずっとずっと、私がわからないこと。特に農政について、わからないこと。いつもいつもアドバイスをもらってきた」と、2026 年 2 月の衆院選で栃木 3 区から出馬した築大臣の応援に入るなどテコ入れを図りましたが、結果は無所属候補に敗れて落選。その後比例で復活当選しました。この時、小選挙区で特に票を伸ばせなかったのが、“予算カット発言”の対象となった那珂川町と那須烏山市だったのです。

先週金曜日（2 日）の時点では誤解を招く発言だったと弁明していた築大臣でしたが、記者団の取材に応じました。

◇築農水相 「会合での発言・音声を確認しました。発言について撤回をし、お詫びいたします。私が担当省庁に予算削減の働きかけをしたという事実はございません。私の意向によって、予算が

左右できるかのような発言はきわめて不適切であり、このような発言をしたことは、不徳の致すところであり、深く反省をしています」

初日に新任大臣が自身の発言を撤回・陳謝するという波乱含みで始まった臨時国会。高市首相は『決断・挑戦・実行』国民の皆様にご実感いただけるよう、確かな成果を積み重ねてまいります」と発言しました。

高市早苗首相は所信表明演説で「政治の信頼回復」に触れることは、最後までありませんでした。演説で言及しなかった背景には、決着済みとして一連の「政治とカネ」の問題に幕引きを図る考えがあるとみられる。首相に近いベテラン議員は「首相からしたら『もういいじゃないの』ということだ」と発言したとか。

高市氏の所信表明での発言の『経世済民』。こんな新閣僚の高市内閣で、世の中をよく治めて人々を苦しみから救う国会になるのでしょうか…。

※経世済民(けいせいさいみん)とは 意味：世の中を正しく治め、民を苦しみから救うことを表す四字熟語。政治理念として用いられることが多い

## 憲法改正、首相が掲げた「来年党大会めど」に向け 与党が協議再開

自民党と日本維新の会は6日、臨時国会の開会にあわせて憲法改正の議論を再開しました。2カ月ぶりに条文起草協議会を開き、9条と緊急事態条項について条文の取りまとめを目指すことを改めて確認しました。

協議会は両党の連立政権合意書に基づくもので昨年11月から断続的におこなってきました。これまでも9条と緊急事態条項について議論してきたが、条文案をまとめるには至っていません。この日は、これまでの議論を振り返り、国会中の進め方について協議しました。

憲法改正をめぐるのは、高市早苗首相（自民党総裁）が4月の党大会で「改正の発議にめどが立った状態で来年の党大会を迎えたい」と語りました。来年の党大会は4月に統一地方選があることから、例年の3月より前倒しして2月21日に行われることとなりました。さっそく維新の馬場伸幸氏は6日の協議会冒頭で、「来年2月の党大会にはめどが立つという高市首相の力強い言葉をもらった」と語りました。

ただ、首相が掲げた「目標」はかなりハードルが高い。維新幹部は「参院が少数の状況であることはわかっています。何でもかんでも強硬に自民に求めるつもりはない」と語ります。自民側も「何をもって『めど』と言うかはこれから（決める）。ゴールありきではなく、積み重ねの結果どうなるかということだ」として慎重姿勢を見せます。今国会で起草委員会の設置が進むかが焦点となりそうです。

与党の協議会とは別に、自民党の「憲法改正実現本部」では、中曽根弘文本部長が留任することが決まりました。

**お知らせ** 第22回国会の新しい衆参憲法審査会の委員が決まりました。その一覧表を憲法会議のホームページに掲載しましたので、ご活用ください。

### 憲法会議 2026年秋の憲法講座 ごあんない

戦争か平和かの岐路―大軍拡・改憲阻止 憲法を生かした政治を！

＊講座・講演 大江京子 弁護士・改憲問題対策法律家6団体連絡会事務局長

演題 「高市改憲の動向と私たちの対抗」

＊国会報告 日本共産党仁比聡平参議院議員

2026年10月17日（土）10時から

主催 憲法会議（憲法改悪阻止各界連絡会議）

協賛 神奈川憲法会議／埼玉憲法会議／千葉県憲法会議／東京憲法会議

※大江京子氏の講演レジメを憲法会議のホームページに掲載しました。ご覧ください。

そして、直接お話を聴きたいと思われた方は、是非、ご視聴を申し込んでください。